



# 三次中央会報

ロータリークラブ

事務所/ 広島県三次市十日市東 1-16-19  
TEL (0824) 64-1245  
FAX (0824) 64-1245  
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp  
http://mcrs.server-shared.com

例会場/ 広島県三次市十日市南1-10-1  
三次グランドホテル

例会日/ 月曜日 12:30~13:30

会長 / 栗本 清 秀

幹事 / 杉谷 優 治

●2021~22年度 国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

●2021~2022年度三次中央RCスローガン  
クラブの魅力を共有し、  
友を増やそう

## 2021-2022 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム 新会員卓話/ロータリー情報委員会  
圓道会員、池田会員、山縣会員
- 次回例会日時 2022年4月25日(月) 12:30~
- 次回プログラム 市役所出前講座/SAA・出席委員会  
健康体操 政倉由子様

### ■第1345回例会記録

- 日時.....2022年4月11日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員

■開会挨拶.....栗本会長

## ある日、スマホが...

皆さん、こんにちは。本日は1月最終例会に予定しておりました古稀の会員の皆様の会員卓話で年男・年女、賀寿の卓話の第2弾です。

井上幸三会員、光永会員、安藤会員、信国会員、担当の井上プログラム委員長よろしく願いいたします。

先日のある日のことですが、スマホを充電していたらブツと小さな音がしてまたしばらくしてブツと小さな音がしそれが繰り返されていました。

充電中のブツブツ音について、インターネットで調べてみたところ再起動すれば良いとか、バッテリーの交換次期かもしれないとか、特に気にせずそのまま使っているということでしたので、そのまま使っていたところ2週間くらいしてスマホを使って調べものをしていたところ、何分かすると画面が真っ暗になり、職場のスタッフにも買い替え時じゃないですかと言われ、次の休みが3日後なのでその日にショップへ行こうかなと思っていました。しかし翌日はタップしてもすぐ切れる

という状態になったため、慌ててショップへ行ったところ、何時のご予約ですか?と聞かれ状況を説明し予約はしてない旨を伝えると、最短で6日後なら空いてますと言われ、そこを



何とかお願いをお願いを重ねたところ、買い替えなら本日17時半を空けますので遅れずにご来店下さいとのありがたい言葉に10分前に伺い、閉店の19時を30分過ぎるまで親切に対応していただき、心より感謝して新しいスマホを持つての帰宅です。

前回購入した書類を改めて見直したところ、4年5カ月使っていたのです。何事も時期の見極めと早め早めの対応、そして感謝の心が必要と感じております。

以上で会長挨拶を終わります。

■幹事報告.....杉谷幹事

- 本日例会終了後、臨時理事役員会を行います。
- 4月18日の例会は、4月17日のIMが中止になったため通常の例会を行います。
- 「もっと知りたい税のこと」の冊子が平田会員から配布されています。

■出席報告.....中西委員長

●第1343回 3月28日

会員数	36名	Make-up	0名
欠席	6名	出席合計	30名
欠席者のうち欠席免除	1名	出席率	85.71%

●第1345回 本日の出席は36名中29名です

■次年度幹事.....中島次年度幹事

今夜7時より次年度理事役員会をこのグランドホテルで行います。7時から会議を始めたいので食事はそれまでに済ませてください。

■SAA.....小根森SAA

●会員誕生日 栗本君、武口君



●会員ニコニコBOXご出宝

- 栗本君 昨日誕生日でした。本日古希卓話、よろしくお願ひします。(伏)
- 武口君 妻と私の誕生日祝い、ありがとうございました。(伏)
- 光永君 妻誕生日。花束ありがとうございました。(伏)
- 安藤君 カーブがいろいろですね。卓話をさせていただきます。
- 井上幸三君 古希卓話をします。
- 信国君 古希の卓話をさせていただきます。
- 井上澄子君 プログラム委員会担当例会です。みなさん、よろしくお願ひします。
- 沈君 石川良興ガバナーエレクトを囲む会に参加してきました。何だか大変そうです。
- 中島君 今夜は次年度理事役員会です。よろしくお願ひします。
- 平田君 カーブ「一日天下」になりませんように！
- 和田君 お久しぶりです！みんなにお会いできて、とってもHappy♡
- 石田君 久しぶり〜和田会員の笑顔にハッピー！

ニコニコBOX本日出宝額 25,000円

■プログラム《古希会員卓話》.....プログラム委員会

皆さんこんにちは。

きょうは古希4人の方のお話を伺います。皆さんとてもお元気で、私はもうちょっと上ですが、頑張っていると思っています。

井上澄子プログラム委員長



の主人公の様な名前になりました。

コキコキと ゆっくり引いて??ケーキ切り  
6号サイズのホールケーキを、切らせていただきました。今回改めて、お湯で温めたナイフでゆっくりと行きつ戻りつさせながら切ると良いと分かりました。

いつか来る きっと来るとは分かっていたのですが、70歳、ついに来たかと思うばかりです。10年前の時は、還暦と60歳の年男が一緒なのですんなり通過しました。しかし、古希からは、違います。

72歳の年男、77歳の喜寿、80歳の傘寿(さんじゅ)、84歳の年男と、あわただしいなと気が付きました。一回り年上の佐々木二千六会員と前回お隣の席に座りました。大変頼もしく感じました。先輩方を目標に私たち4名もみんな頑張りましょう。

ロータリー歴は、長いのです。連続出席30年の表彰を2021.6.30.付けでいただきました。感無量ですね。連続出席が出来たのは、会員皆さまのおかげと、奥さまや患者さん、スタッフのご協力の賜物と感謝しております。

地区大会に出席して表彰される先輩会員を見て、

目標は連続出席

安藤 仁(眼科医)

1952年(昭和27年)3月5日



こんにちは、お世話になります。今年すでに古希になった三人とこれからなるメンバーと、合わせて4名です。アルファベット順で私から卓話をして下さいと井上さんから言われました。4人の名前の最初の漢字を並べますと「安井 光信」、サスペンスドラマ

これを目標にしようと思いました。思いもよらぬ新型コロナウイルス感染症が続いているために地区大会でいただくわけにはいかななくて残念でした。

入会は、1990年9月でした。2回目の増強でお誘いいただきました。創立記念日は同じ年の6月でしたので早く声をかけていただけたらな～と思いました。

チャーターメンバーではないのですが、11月12日チャーターナイト 認証状伝達式の準備は何も分からないまま皆さんがベテランロータリアンのように見えましたので言われるままに動きました。団結力がこの行事をする事で高まりました。良い思い出です。

自己紹介をさせていただきます。

1979年に東京都品川区にあります昭和大学医学部を卒業し、眼科医局に入り眼科を学びました。

今朝から始まったNHK朝ドラ「ちむどんどん」、ドラマの舞台は沖縄県北部のヤンバルです。この近くにある沖縄県名護市の県立名護病院に1983年の1年間、厚生省からの派遣医として赴任しました。青い海を満喫させていただき素晴らしかったです。

1975年に開催されました沖縄国際海洋博覧会で作られた海洋博記念公園内の水族館で、優雅に泳ぐジンベイザメの水槽を眺めるのに良い奥の座席で寝転んで観る所があり毎月のように会いに行きました。

大学に戻り、1985年から1988年4月まで茨城県水戸市の小沢眼科に勤務してきました。音楽園のお庭を何回も無料で楽しみました。

1988年11月に三次町巴橋の西詰であんどう眼科を開院いたしました。大変お世話になっております。

あんどう眼科前のプランターたちは、ご存知の方はいらっしゃいますか、今、春爛漫でチューリップがたくさん咲いて見事です。500球くらい植えております。毎年球根が出来て増えてしまいました。

パンジーも凄いです。30株は咲いております。シャクナゲの花が今年はまだ満開です。どの花も、10日くらい早く満開になっております。ご覧いただければ幸いです。

ウクライナで自由と民主主義と祖国のために戦っているウクライナの人にエールを送ります。戦争とコロナが早く収まることを祈ります。ご清聴ありがとうございました。



## 人生の扉 その重さ

井上 幸三 (履物販売)

1952年 (昭和27年) 2月18日



お祝いをいただくのは嬉しいのですが、古希などの賀寿の祝いは、ああこの段階まで来ているのだなあ、と感じてしまいます。

竹内まりあの“人生の扉”の歌の中に、「一つ一つ人生の扉開けては感じるその重さ」という歌詞がありますが、年々重たくなっています。

先日、高校陸上部の同期会を一年半ぶりに開きましたが、話は薬と病気と孫の話で、みんなこんな歳になったんだと思いました。

先日はクラブよりお祝いをいただきありがとうございます。いつの間にか70歳を迎えていました。大病もせず無事古希を迎えられたこと、多くの皆さんの支援のおかげと感謝いたします。

特に還暦からの10年間、信じられないくらいの速さで時が過ぎていったようで、だんだん焦りも出てきています。最近身辺整理を少しずつ始めました。2月は運転免許の高齢者講習の案内や、年金資格喪失の案内が来たり、好きなゴルフの飛距離が落ちてくるとか、いろいろ寂しいことが増えて来ました。

私生活は大学を卒業して48年。現在までサングリーン一筋の仕事中心の生活でした。家族、特に妻には子育て、家事全部を任せっきりで苦勞のかけっぱなしでした。改めて感謝したいと思います。

おかげで子ども4人孫7人元気に育っています。人生100年時代といわれる今日、これからの30年を送っていくには健康が一番大切だということで、週に一度夫婦でストレッチ教室に通い、体を動かしています。

仕事の方も息子に徐々にまかせ、代替わりを進めています。夢だった夫婦二人でのんびり旅行が出来るのを楽しみに、これからも元気で歩ける喜び、美味しく食べられる喜びを感じながら、人と人の繋がりを大切に、一日一日をポジティブにガンパツて行きたいと思えます。

もちろんロータリー活動も頑張ります。

## 誠実と感謝

信国 秀昭 (旅行業)

1952年 (昭和27年) 12月6日



〔人生七十 古来稀なり〕 私は、今年古希を迎えます。先週は皆さまから古希のお祝いをいただき、ありがとうございます。

元気で病気もせず今日まで生かされてこれたことに、まずもって感謝をしなくてはなりません。気が付けば70歳。最近特に思う事は、人の名前が出てこない。物忘れがひどくなって、記憶力の低下が顕著に表れておりますが、自分ではまだ50歳代だと思って頑張っているところでございます。しかしながら、世間様は、あんたは年寄りなんだよ！とされているような気がいたします。私の座右の銘は「誠実と感謝」です。これからもすべての事に真心と感謝の念をもって生きていきたいと思っております。

さて、我が国の出生数を見ますと私がこの世に生を受ける前の年、昭和26年には年間213万7千人が誕生しております。昭和27年には200万5千人。その後少子化が進み平成に入りますと年間110万人～120万人。さらに令和2年には90万人を下回る事態となっております。まさしく少子高齢化の時代でございます。

ここで当時の世相を振り返ってみますと、昭和26年1月3日NHK紅白歌合戦がラジオ番組でスタートしております。昭和28年からテレビの本放送に代わり、大晦日の歌番組として再スタートを切りました。また、昭和27年には国会中継の放送が始まり、東京・青山に日本初のボーリング場が登場したり、日米安全保障条約が発効されたのもこの年でございます。

さて、昭和27年 (1952年) 生まれの有名人を見ますと、歌手の中島みゆき、小柳ルミ子、さだまさし、吉幾三、三浦友和、松坂慶子、東京都の小池知事など馴染の方々がいらっしゃいます。今、世界の注目を集めているロシアのプーチン大統領も1952年生まれの様でございます。

話は変わりますが、私の尊敬する三次のアスリート富久正二さんは、97歳で陸上競技を始められました。その時「私の人生はこれからです」と言われ世間をアッと言わせた富久さんは、60m走100歳～104歳の部門で日本記録保持者でございます。現在105歳を迎えられた富久さんの様にはいかなくて

も、人生100年時代、今後目指すは77歳 (喜寿きじゅ) 80歳 (傘寿さんじゅ) 88歳 (米寿べいじゅ) 90歳 (卒寿そつじゅ) 99歳 (はくじゅ) 100歳 (百寿ひゃくじゅ) を目指し、一日一善 何か一つ良い事をし、社会に貢献できる日々を送りたいと思います。

あちこちの 骨がなるなり 古希古希と

## 逆境は忍耐 順境は用心

光永 義則 (茶道)

1952年 (昭和27年) 2月18日



古希を迎えて私の真逆 (まさか) の人生と座右の銘を紹介させていただきます。

私にとって、これまでの人生では四つの真坂がありました。

一つ目は、1952年 昭和27年2月18日です。戦後の生まれですが、誕生は戦争に関係があることを幼少期に祖母に聴き自分が生まれてきたことに意外性を感じました。それは母15歳の時兄 (伯父) が昭和20年6月25日フィリピンルソン島にて戦死し、母が長女だったため光永家を継いだことでした。今も世界の戦火は続き暴挙ですが私にとっては不思議でなりません。

二つ目は、1993年 平成5年 11月1日です。三次信用金庫と庄原信用金庫の対等合併で新生「広島みどり信用金庫」誕生時三次支店に転勤となり、三次市で平成16年12月までの11年間勤務したことであります。

三つ目は、2001年 平成13年 6月20日です。三次営業部で勤務中、常任理事 三次営業部長に就任となったことです。

四つ目は、2015年 平成27年 6月16日です。6月16日開催の総代会後の理事会において5代理事長に就任となったことです。

私の人生は勤続50年でしたが、特に三次市で勤務させていただいた11年間は人との出会いと書籍に出会った語句で「逆境は忍耐・順境は用心」でした。以後今日まで座右の銘としております。

したがって、私の真逆は感謝なのかもしれません。これからも真逆、いや感謝は続くかもしれませんが、感謝を忘れない人生を送りたいと思います。

これで卓話にならない卓話でしたが終わります。